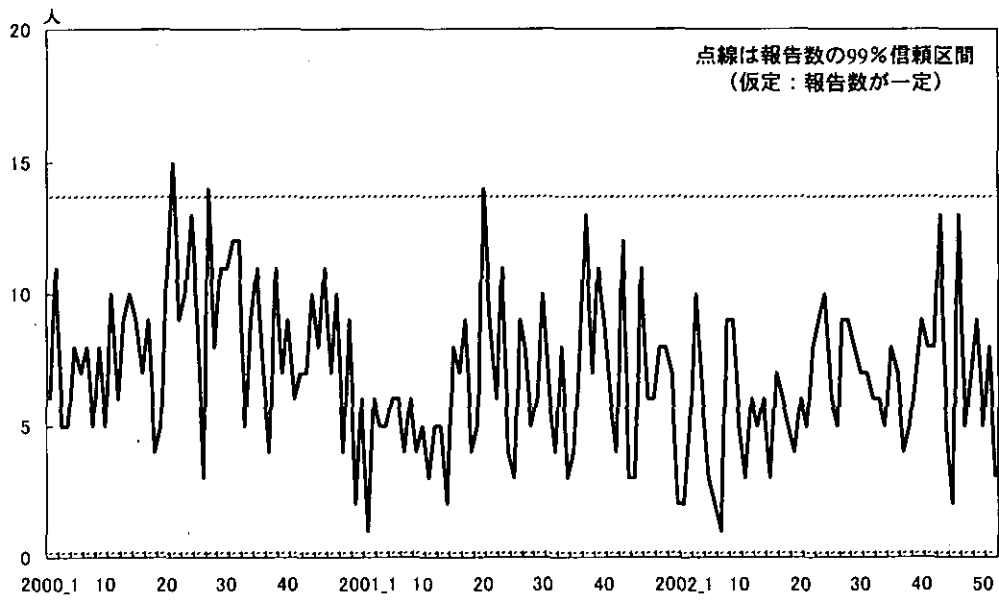
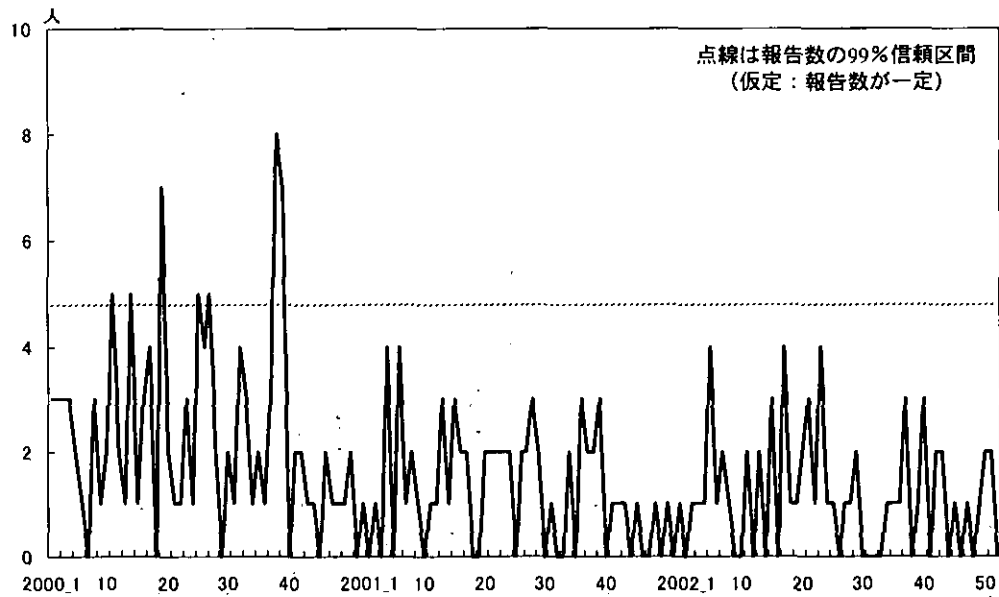


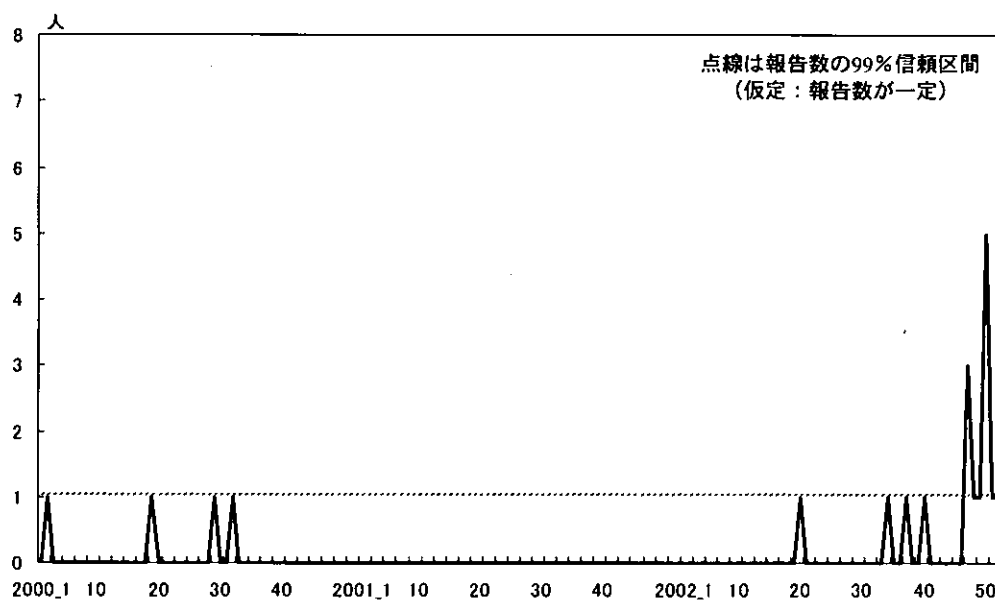
図V-2-5 週別、報告数（急性ウイルス肝炎B型）



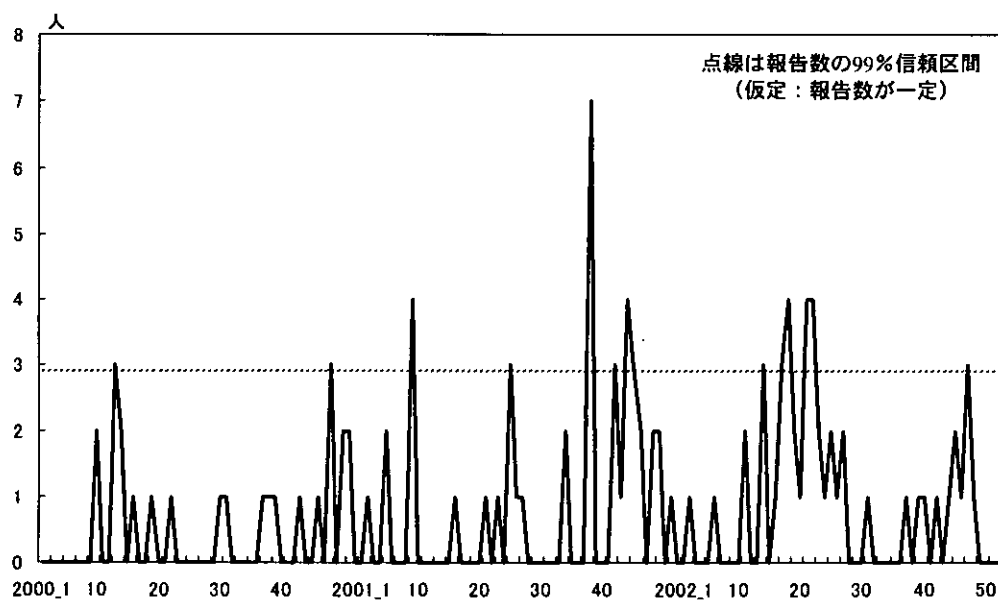
図V-2-6 週別、報告数（急性ウイルス肝炎C型）



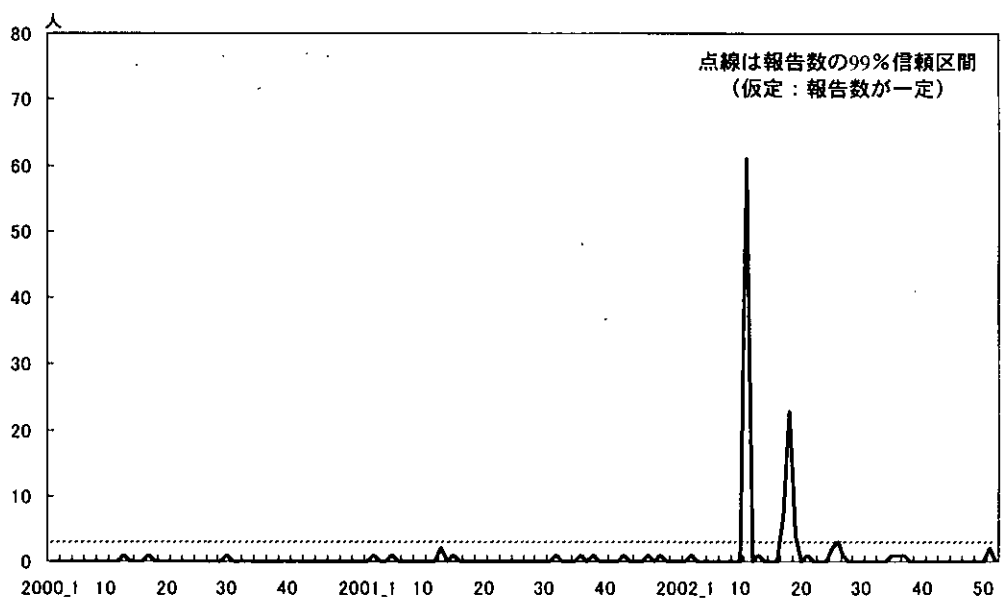
図V-2-7 週別、報告数（急性ウイルス肝炎E型）



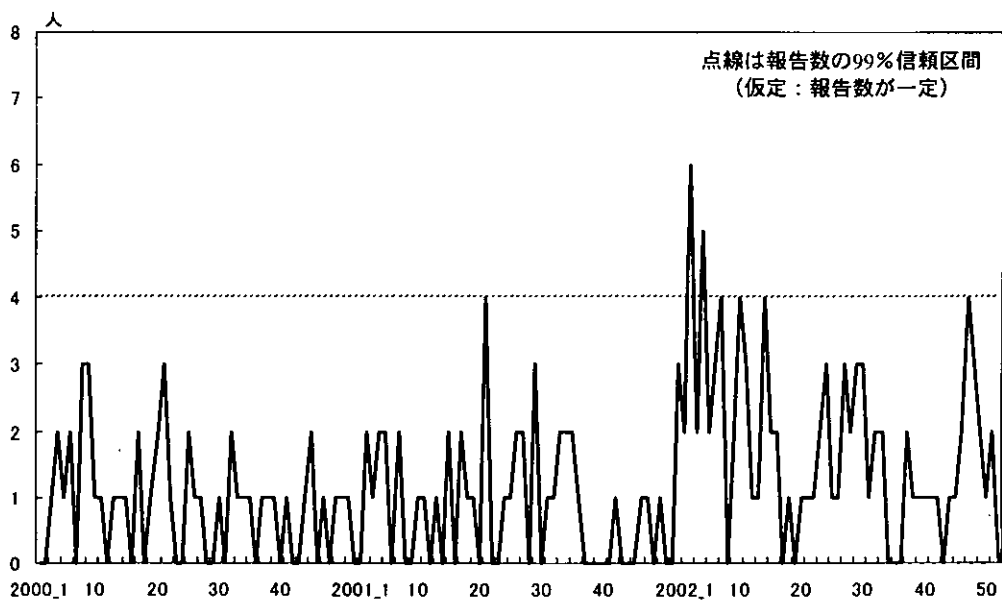
図V-2-8 週別、報告数（Q熱）



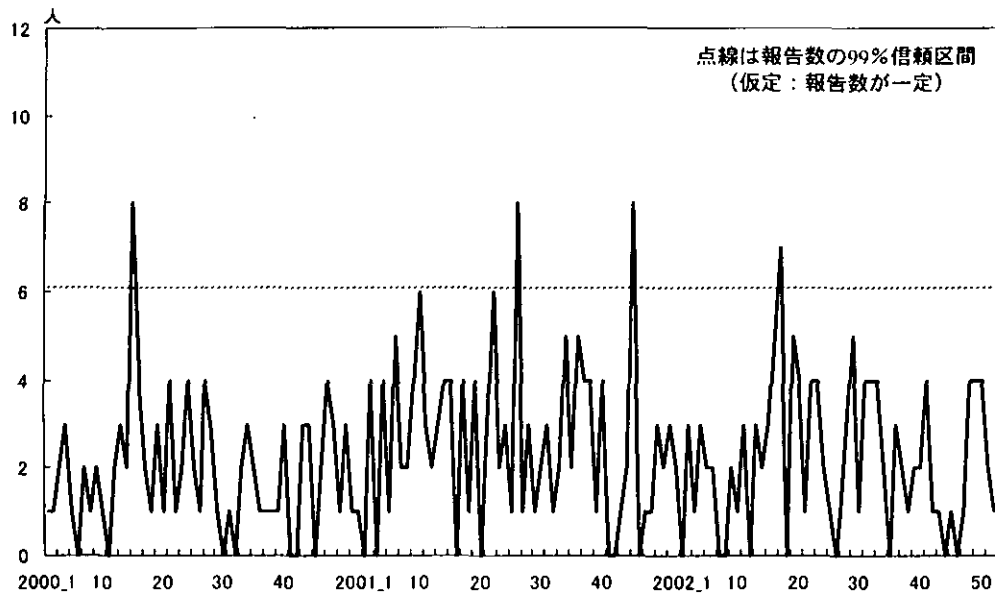
図V-2-9 週別、報告数（クリプトスポリジウム症）



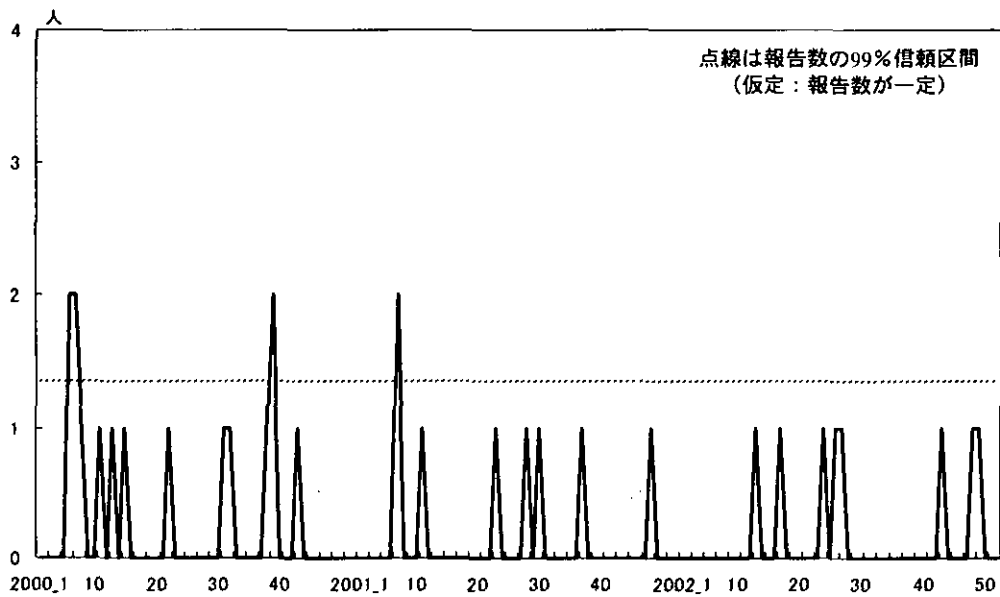
図V-2-10 週別、報告数（劇症型溶血性レンサ球菌感染症）



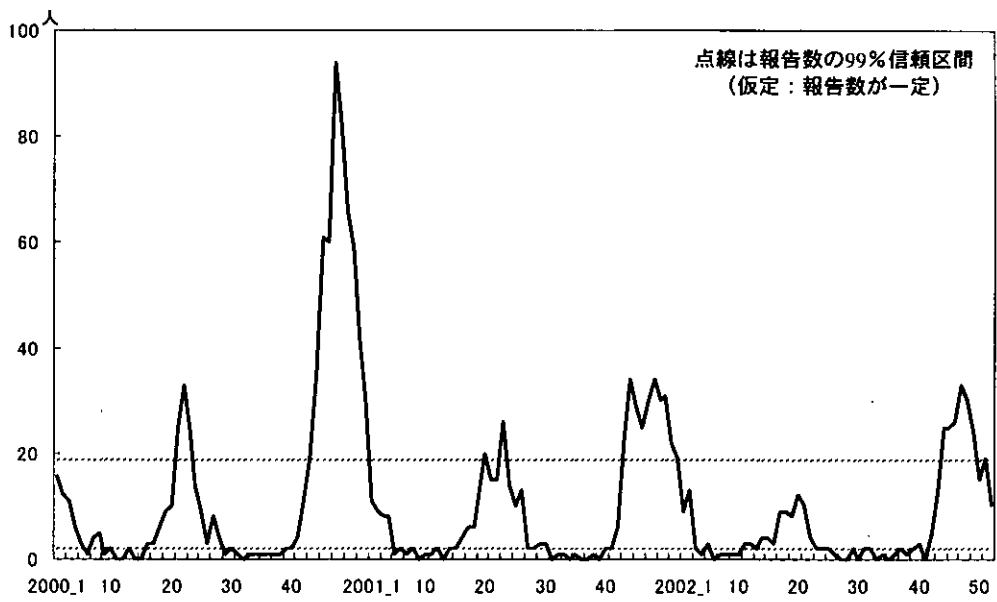
図V-2-11 週別、報告数（ジアルジア症）



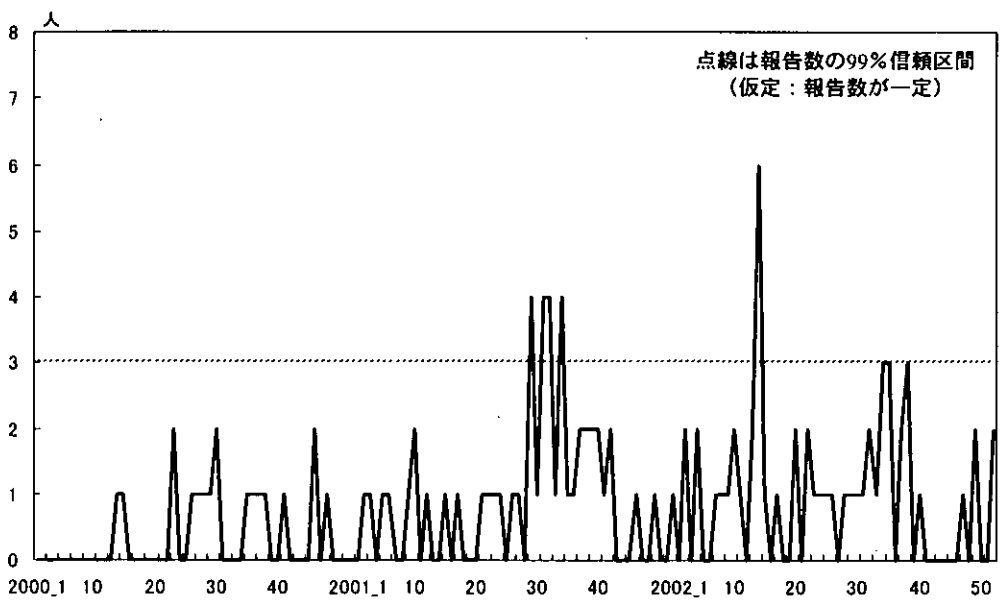
図V-2-12 週別、報告数（髄膜炎菌性髄膜炎）



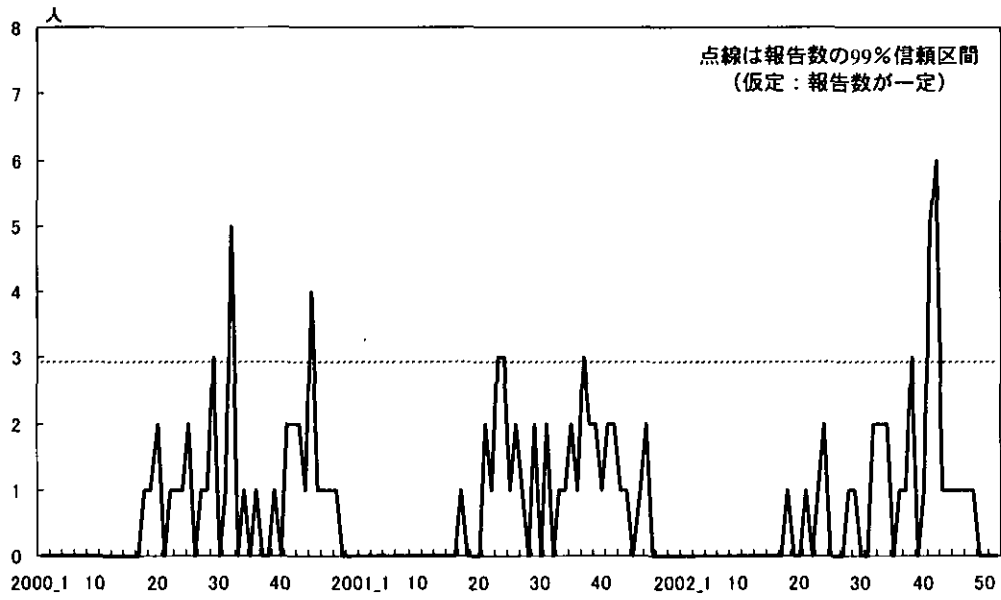
図V-2-13 週別、報告数（ツツガムシ病）



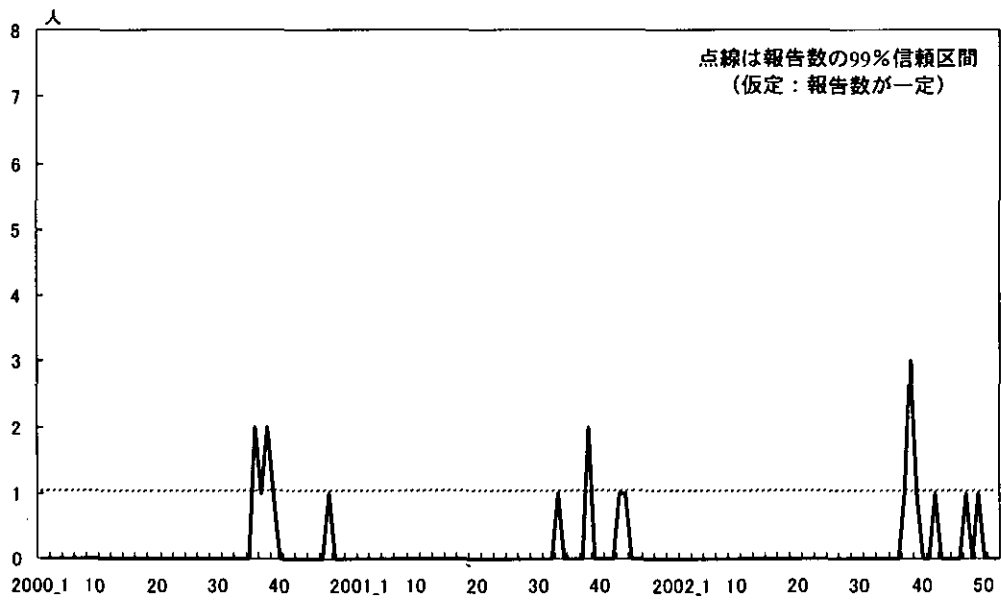
図V-2-14 週別、報告数（デング熱）



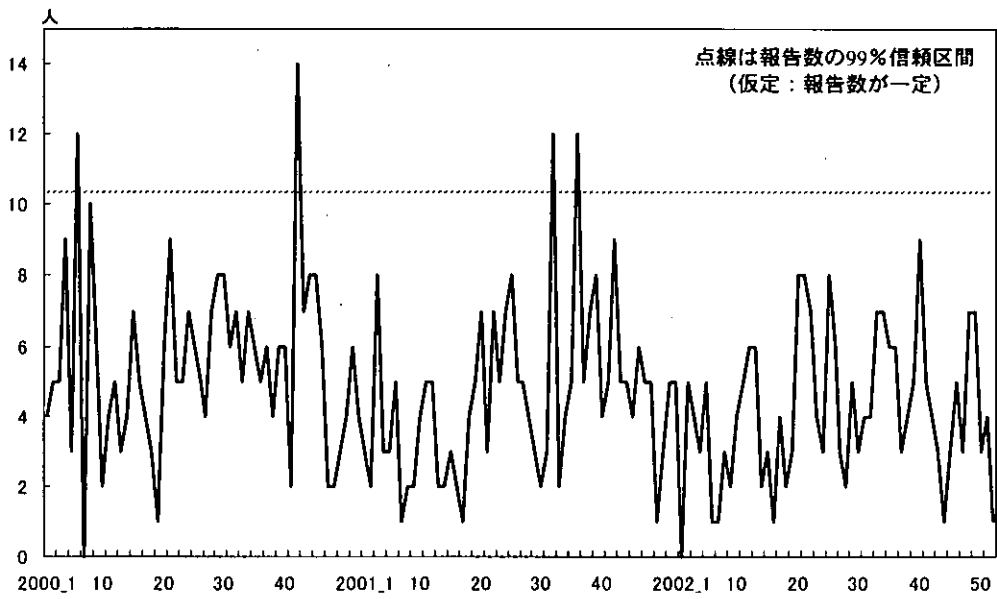
図V-2-15 週別、報告数（日本紅斑熱）



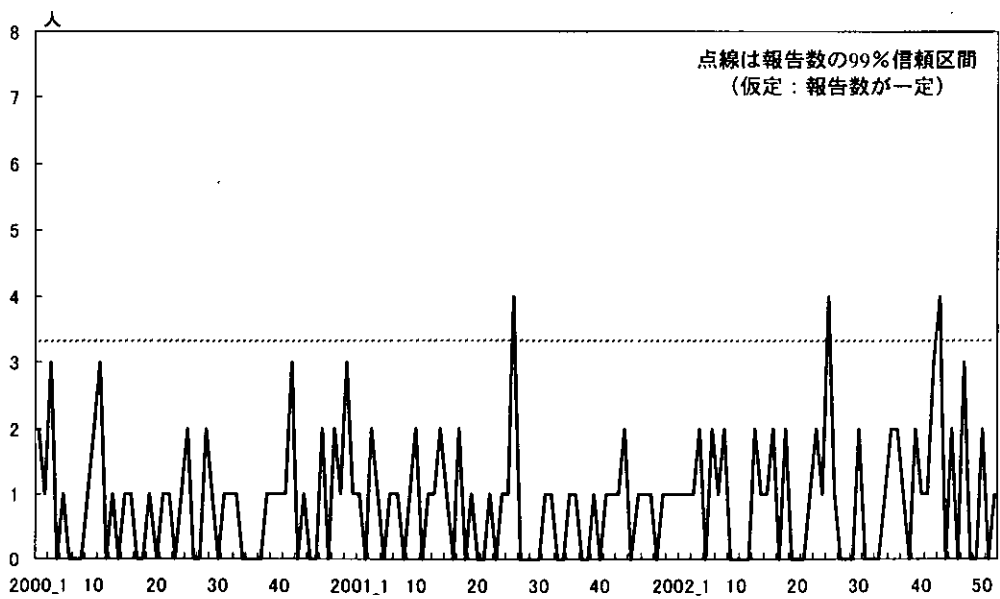
図V-2-16 週別、報告数（日本脳炎）



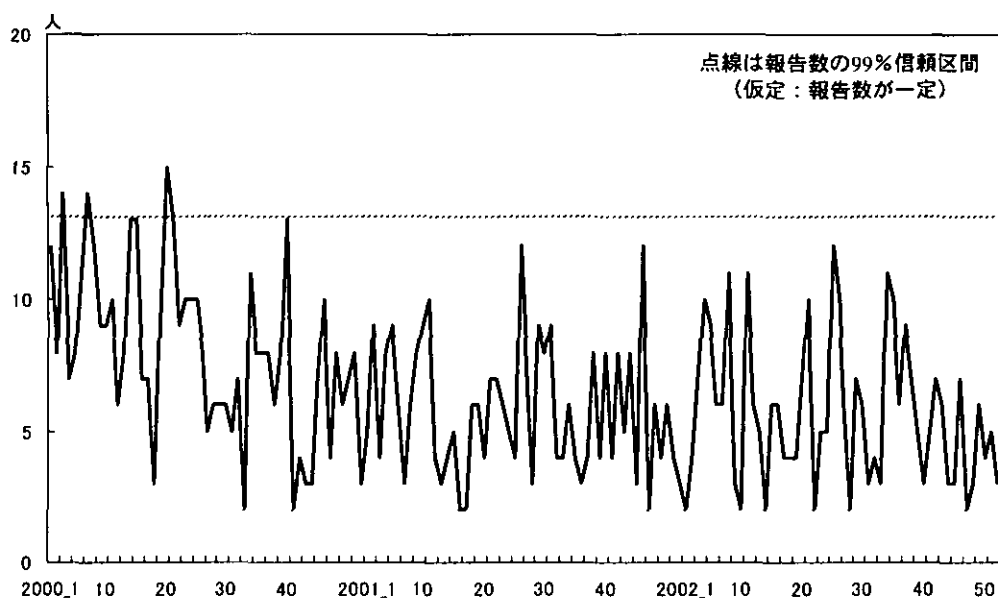
図V-2-17 週別、報告数（早期顕症梅毒）



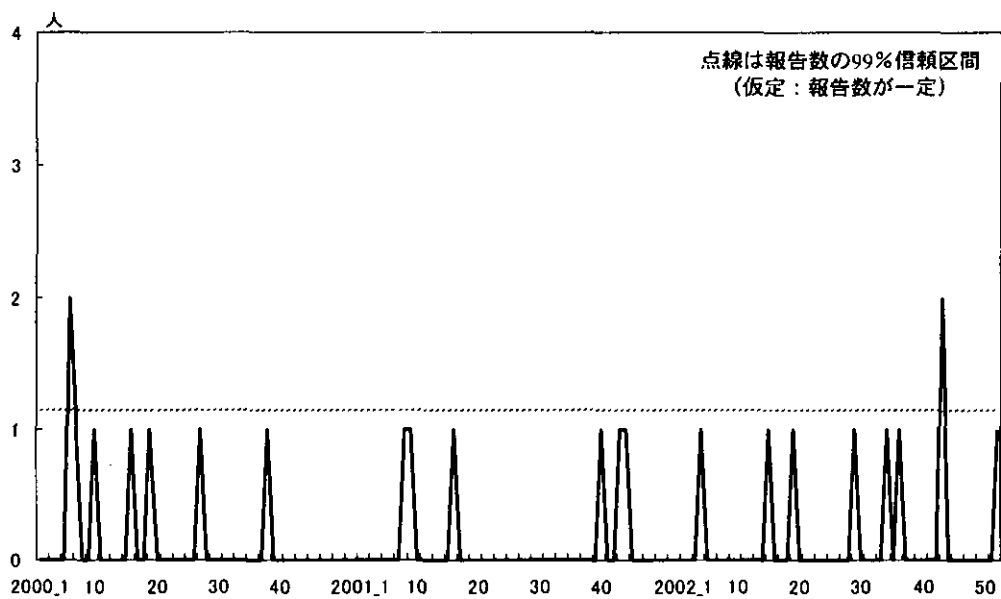
図V-2-18 週別、報告数（晩期顕症梅毒）



図V-2-19 週別、報告数（無症状梅毒）

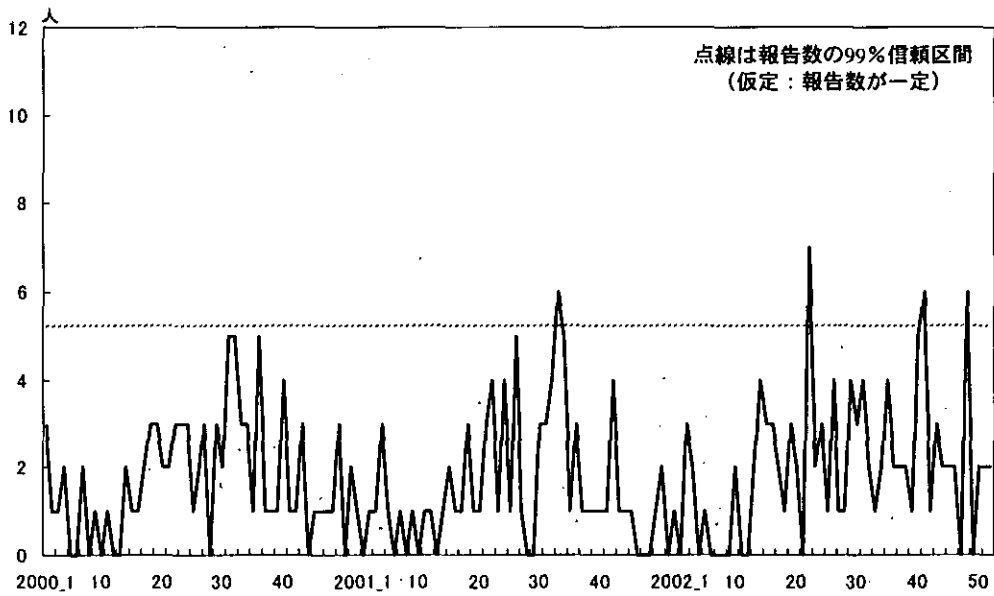


図V-2-20 週別、報告数（先天梅毒）

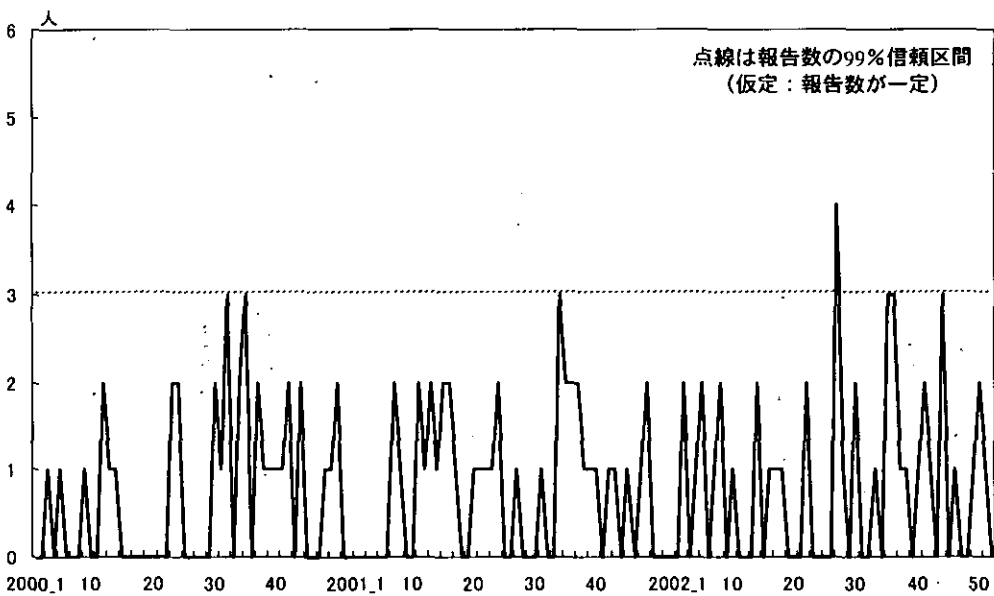




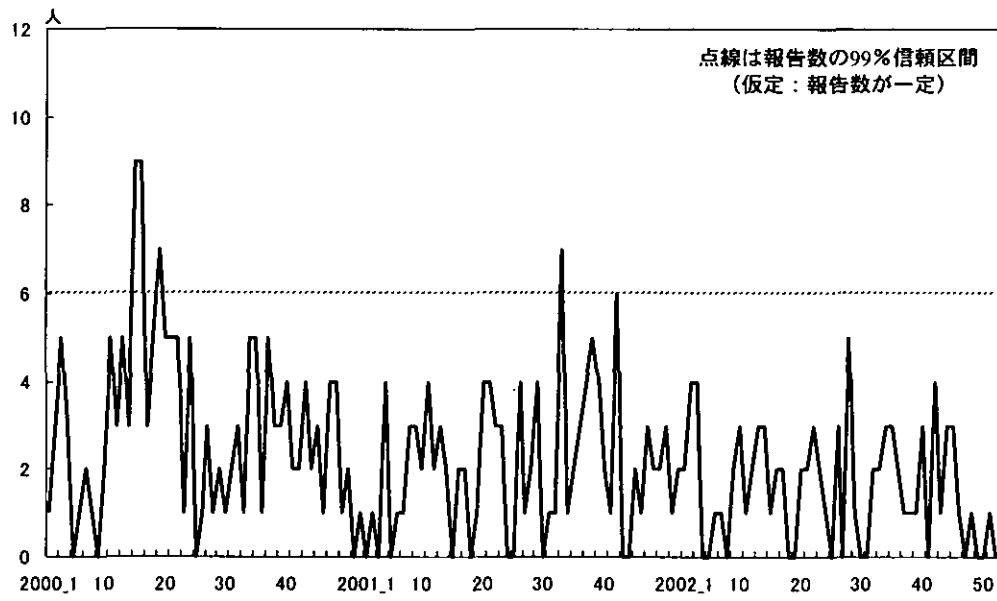
図V-2-21 週別、報告数（破傷風）



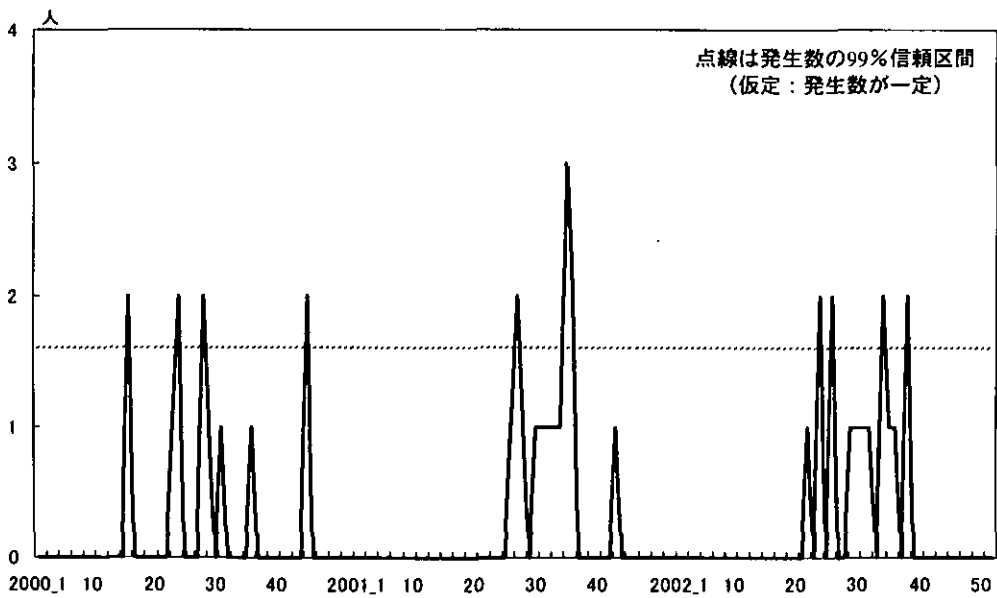
図V-2-22 週別、報告数（バンコマイシン耐性腸球菌感染症）



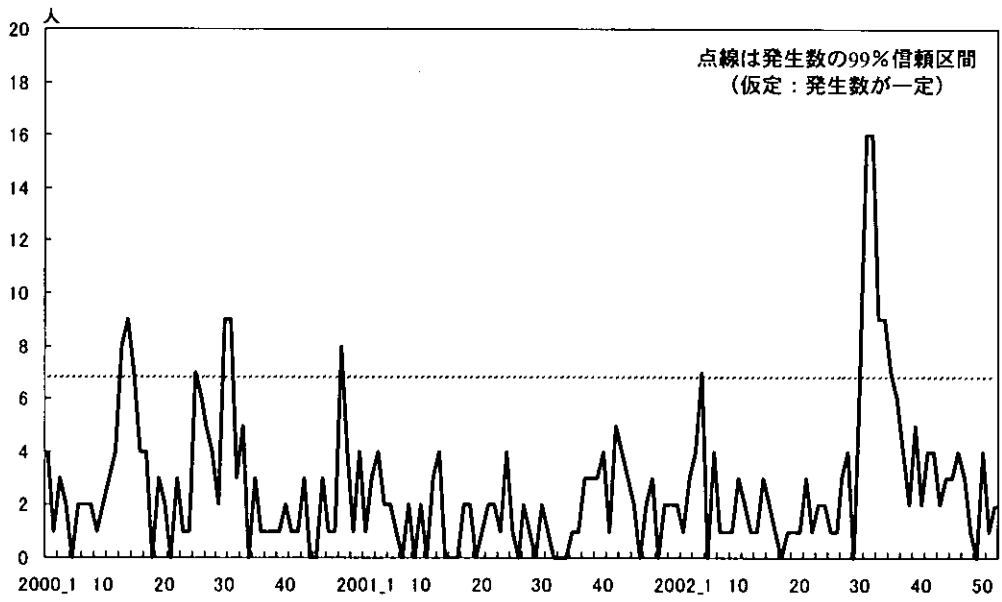
図V-2-23 週別、報告数（マラリア）



図V-2-24 週別、報告数（ライム病）



図V-2-25 週別、報告数（レジオネラ症）



### V-3. 報告数の地域的分布

#### 1) 検討方法

前節と同じように、基礎資料は2000～2002年の3年間における感染症発生动向調査データとし、検討対象は3年間の合計報告数が10人以上の25疾患とした。

疾患ごとに都道府県別の3年間の合計報告数を観察した。観察にあたって、偶然変動の大きさを考慮するために、全国の3年間の合計報告数を用いて、各都道府県の報告数が人口あたり一定という仮定の下で期待値を算定した。報告数とともに、期待値に対する比およびポアソン分布を基礎とする99%信頼上限との比較結果を示した。

疾患ごとに、都道府県と週別の報告数を観察した。観察にあたって、全国の3年間の合計報告数を用いて、各都道府県の報告数が人口あたり一定および週ごとに一定という仮定の下で、ポアソン分布を基礎とする信頼区間を算定した。各都道府県の各週の報告数が99.9%信頼上限を超える場合を示した。なお、かりに、上記の仮定が成り立っていれば、 $47 \times 156 \times 0.001 = 7.3$ 週が信頼区間を超えると期待される。

#### 2) 検討結果

##### (1) 都道府県分布

表V-3-1～7に、それぞれ25疾患の都道府県別報告数を示す。アメーバ赤痢の報告数は東京、神奈川、大阪と神戸で多かった。エキノкокクス症の報告数は北海道に限定していた。オウム病の報告数は島根と広島で多かった。

急性ウイルス性肝炎の報告数は、A型、B型とC型ではいくつかの地域で高く、E型では北海道で多かった。

Q熱の報告数は北海道、宮城、東京、静岡と高知で多かった。クリプトスポリジウム症の報告数は北海道と神戸で多かった。劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告数は期待値と比べてとくに多い地域が見られなかった。ジアルジア症の報告数は東京、京都と大阪で多かった。

髄膜炎菌性髄膜炎の報告数は千葉と沖縄で多かった。ツツガムシ病の報告数は大分、宮崎、鹿児島などで多かった。デング熱の報告数は東京と神奈川で多かった。日本紅斑熱の報告数は島根、高知と鹿児島で多かった。

梅毒の報告数は、早期顕症梅毒では山口、香川などで多く、晩期顕症梅毒では期待値と比べてとくに多い地域がなかった。無症状梅毒では秋田、東京、大阪と岡山で多く、先天梅毒では茨城などで多かった。

日本脳炎の報告数は中国地方の各地域、高知と長崎で多かった。破傷風の報告数は鹿児島、高知などで多かった。バンコマイシン耐性腸球菌感染症の報告数は秋田、東京、山梨、福岡で多かった。マラリアの報告数は東京で多かった。ライム病の報告数は北海道で多かった。レジオネラ症の報告数は山形、茨城、静岡、宮崎と鹿児島で多かった。

以上、疾患ごとに報告数の地域的分布に特徴が見られた。都道府県で報告数に大きな間差のある疾患が少なくなかった。東京などで人口あたり報告数がやや多い傾向であった。

##### (2) 週・都道府県分布

図V-3-1にアメーバ赤痢の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は東京でかなり多く、

神奈川県、京都、大阪などで散発的にみられた。図V-3-2にエキノコックス症の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は北海道で各年次を通して多かった。図V-3-3にオウム病の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は各地に散発的にみられ、島根と広島で2002年に多くみられた。

図V-3-4～7に、それぞれ、急性ウイルス性肝炎のA型、B型、C型とE型の都道府県と週別報告数を示す。A型では報告数の多い週は2000年の石川、岐阜と徳島、2001年の東京、岐阜と神戸、2002年の東京などで多かった。B型では報告数の多い週は京都、大阪、神戸、広島と福岡で多かった。C型では報告数の多い週は2000年の静岡、大阪と福岡などで多かった。E型では報告数の多い週は2002年おわりの北海道に多かった。

図V-3-8にQ熱の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は2000年の北海道、2001年と2002年の東京で多かった。図V-3-9にクリプトスポリジウム症の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は2002年の北海道と千葉などでみられた。図V-3-10に劇症型溶血性レンサ球菌感染症の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は散発的にみられた。図V-3-11にジアルジア症の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は東京、京都と大阪で多かった。図V-3-12に髄膜炎菌性髄膜炎の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は散発的にみられた。図V-3-13にツツガムシ病の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は東北地方と新潟の毎年次半ば、および、関東地方、岐阜、広島と九州地方で毎年次終わりに多かった。図V-3-14にデング熱の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は東京、神奈川などで多かった。図V-3-15に日本紅斑熱の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は毎年次の神戸、島根、高知と鹿児島、および、2000年の千葉で多かった。図V-3-16に日本脳炎の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は散発的にみられた。

図V-3-17～20に、それぞれ、早期顕症梅毒、晩期顕症梅毒、無症状梅毒と先天梅毒の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は早期顕症梅毒では京都、大阪、山口などで多く、晩期顕症梅毒では各地で散発的であった。無症状梅毒では大阪と2000年の福岡などで多く、先天梅毒では散発的であった。

図V-3-21に破傷風の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は各地で散発的にみられた。図V-3-22にバンコマイシン耐性腸球菌感染症の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は毎年次の東京、2001年の神奈川、2002年の福岡で多かった。図V-3-23にマラリアの都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は東京でかなり多かった。図V-3-24にライム病の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は北海道で多かった。図V-3-25にレジオネラ症の都道府県と週別報告数を示す。報告数の多い週は2000年の茨城と静岡、2002年の宮崎で多かった。

以上、疾患ごとに報告数の地域的・時間的分布に特徴が見られた。報告数の多い週が各地で散発的にある疾患、特定の地域で多い疾患、特定の地域で特定の期間に多い疾患などがみられた。

表V-3-1 都道府県別、報告数(1)

都道府県	アメーバ赤痢		エキノコックス症		オウム病	
	3年間の報告数	期待値に対する比	3年間の報告数	期待値に対する比	3年間の報告数	期待値に対する比
北海道	31	0.5	43	20.5 *	3	0.6
青森	1	0.1	1	1.8	2	1.6
岩手	3	0.2	0	0.0	0	0.0
宮城	21	0.9	0	0.0	1	0.5
秋田	1	0.1	0	0.0	0	0.0
山形	2	0.2	0	0.0	0	0.0
福島	12	0.6	1	1.3	3	1.6
茨城	7	0.2	0	0.0	0	0.0
栃木	5	0.2	0	0.0	0	0.0
群馬	10	0.5	0	0.0	0	0.0
埼玉	45	0.6	0	0.0	4	0.7
千葉	57	1.0	0	0.0	3	0.6
東京	326	2.7 *	0	0.0	15	1.4
神奈川	111	1.3 *	0	0.0	5	0.7
新潟	7	0.3	0	0.0	0	0.0
富山	2	0.2	0	0.0	0	0.0
石川	6	0.5	0	0.0	1	1.0
福井	6	0.7	0	0.0	1	1.4
山梨	4	0.5	0	0.0	0	0.0
長野	15	0.7	0	0.0	3	1.6
岐阜	24	1.1	0	0.0	3	1.7
静岡	19	0.5	0	0.0	6	1.9
愛知	62	0.9	0	0.0	6	1.0
三重	12	0.6	0	0.0	1	0.6
滋賀	12	0.9	1	2.0	0	0.0
京都	33	1.3	0	0.0	2	0.9
大阪	182	2.1 *	1	0.3	11	1.5
神戸	86	1.6 *	0	0.0	3	0.6
奈良	16	1.1	0	0.0	0	0.0
和歌山	11	1.0	0	0.0	1	1.1
鳥取	3	0.5	0	0.0	1	1.9
島根	2	0.3	0	0.0	11	16.9 *
岡山	23	1.2	0	0.0	4	2.4
広島	15	0.5	0	0.0	10	4.1 *
山口	4	0.3	0	0.0	1	0.8
徳島	5	0.6	0	0.0	0	0.0
香川	5	0.5	0	0.0	0	0.0
愛媛	7	0.5	0	0.0	0	0.0
高知	6	0.7	0	0.0	1	1.4
福岡	38	0.8	0	0.0	2	0.5
福岡	1	0.1	0	0.0	1	1.3
佐賀	4	0.3	0	0.0	0	0.0
長崎	7	0.4	0	0.0	0	0.0
熊本	3	0.2	0	0.0	1	1.0
大分	6	0.5	0	0.0	2	2.0
宮崎	4	0.2	0	0.0	0	0.0
鹿児島	5	0.4	0	0.0	1	0.9
沖縄						

期待値は人口あたり報告数が一定という仮定の下で算定。

\* : 報告数が99%信頼上限より大きい

表V-3-2 都道府県別、報告数(2)

都道府県	急性ウイルス 性肝炎A型		急性ウイルス 性肝炎B型		急性ウイルス 性肝炎C型		急性ウイルス 性肝炎E型	
	3年間 の報告 数	期待値 に対す る比	3年間 の報告 数	期待値 に対す る比	3年間 の報告 数	期待値 に対す る比	3年間 の報告 数	期待値 に対す る比
北海道	13	0.2	18	0.4	3	0.3	12	13.4 *
青森	4	0.3	4	0.3	3	1.1	0	0.0
岩手	17	1.1	6	0.5	0	0.0	1	4.5
宮城	35	1.4	49	2.4 *	3	0.7	0	0.0
秋田	12	0.9	14	1.4	0	0.0	0	0.0
山形	24	1.8 *	1	0.1	0	0.0	0	0.0
福島	13	0.6	5	0.3	0	0.0	0	0.0
茨城	23	0.7	15	0.6	3	0.5	0	0.0
栃木	15	0.7	6	0.4	3	0.8	1	3.2
群馬	39	1.8 *	12	0.7	9	2.3	0	0.0
埼玉	35	0.5	30	0.5	11	0.8	0	0.0
千葉	51	0.8	12	0.2	3	0.3	0	0.0
東京	217	1.7 *	143	1.4 *	23	1.0	2	1.0
神奈川	99	1.1	53	0.7	4	0.2	0	0.0
新潟	10	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
富山	7	0.6	7	0.7	1	0.5	0	0.0
石川	28	2.2 *	6	0.6	2	0.9	0	0.0
福井	2	0.2	2	0.3	0	0.0	0	0.0
山梨	9	0.9	14	1.8	3	1.8	0	0.0
長野	20	0.8	11	0.6	2	0.5	1	2.9
岐阜	84	3.7 *	30	1.7 *	3	0.7	0	0.0
静岡	26	0.6	20	0.6	26	3.6 *	0	0.0
愛知	55	0.7	35	0.6	8	0.6	0	0.0
三重	6	0.3	1	0.1	1	0.3	0	0.0
滋賀	9	0.6	2	0.2	1	0.4	0	0.0
京都	29	1.0	31	1.4	3	0.6	1	2.4
大阪	87	0.9	111	1.5 *	50	2.9 *	0	0.0
神戸	96	1.6 *	126	2.7 *	14	1.3	2	2.3
奈良	13	0.8	27	2.2 *	2	0.7	0	0.0
和歌山	16	1.4	5	0.6	1	0.5	0	0.0
鳥取	4	0.6	2	0.4	0	0.0	0	0.0
島根	3	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
岡山	25	1.2	39	2.3 *	7	1.9	0	0.0
広島	37	1.2	49	2.0 *	7	1.3	0	0.0
山口	20	1.2	7	0.5	0	0.0	0	0.0
徳島	33	3.7 *	8	1.1	1	0.6	0	0.0
香川	7	0.6	14	1.6	1	0.5	0	0.0
愛媛	21	1.3	16	1.3	1	0.3	0	0.0
高知	10	1.1	5	0.7	4	2.6	0	0.0
福岡	52	1.0	63	1.5 *	24	2.5 *	0	0.0
佐賀	4	0.4	5	0.7	1	0.6	0	0.0
長崎	5	0.3	4	0.3	0	0.0	0	0.0
熊本	8	0.4	14	0.9	9	2.5 *	0	0.0
大分	17	1.3	10	1.0	2	0.9	0	0.0
宮崎	20	1.6	21	2.1 *	4	1.8	0	0.0
鹿児島	8	0.4	29	1.9 *	2	0.6	0	0.0
沖縄	1	0.1	2	0.2	0	0.0	0	0.0

期待値は人口あたり報告数が一定という仮定の下で算定。

\*：報告数が99%信頼上限より大きい

表V-3-3 都道府県別、報告数(3)

都道府県	Q熱		クリプトスポ リジウム症		劇症型溶血性レ ンサ球菌感染症		ジアルジア症	
	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比
北海道	11	2.2 *	35	6.4 *	6	0.7	4	0.3
青森	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0
岩手	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
宮城	8	3.8 *	0	0.0	2	0.6	4	0.6
秋田	0	0.0	0	0.0	1	0.6	1	0.3
山形	1	0.9	0	0.0	2	1.1	0	0.0
福島	0	0.0	0	0.0	6	1.9	2	0.3
茨城	0	0.0	1	0.3	2	0.5	7	0.9
栃木	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0
群馬	0	0.0	0	0.0	6	2.0	1	0.2
埼玉	5	0.8	0	0.0	9	0.9	11	0.6
千葉	1	0.2	8	1.4	14	1.6	9	0.5
東京	54	5.0 *	10	0.9	27	1.5	121	3.6 *
神奈川	1	0.1	4	0.5	9	0.7	36	1.5
新潟	0	0.0	0	0.0	5	1.4	0	0.0
富山	1	1.0	0	0.0	1	0.6	1	0.3
石川	0	0.0	0	0.0	4	2.3	1	0.3
福井	0	0.0	0	0.0	2	1.6	4	1.8
山梨	0	0.0	0	0.0	1	0.8	4	1.6
長野	1	0.5	0	0.0	3	0.9	3	0.5
岐阜	1	0.5	0	0.0	2	0.6	1	0.2
静岡	12	3.6 *	0	0.0	7	1.3	4	0.4
愛知	5	0.8	0	0.0	14	1.3	6	0.3
三重	0	0.0	0	0.0	1	0.4	2	0.4
滋賀	0	0.0	0	0.0	1	0.5	1	0.3
京都	1	0.4	0	0.0	6	1.5	35	4.8 *
大阪	0	0.0	2	0.2	3	0.2	40	1.6 *
神戸	3	0.6	62	11.5 *	14	1.7	14	0.9
奈良	0	0.0	0	0.0	2	0.9	4	1.0
和歌山	0	0.0	0	0.0	3	1.9	0	0.0
鳥取	1	1.8	0	0.0	2	2.2	2	1.2
島根	0	0.0	0	0.0	1	0.9	1	0.5
岡山	1	0.6	0	0.0	4	1.4	5	0.9
広島	0	0.0	0	0.0	2	0.5	4	0.5
山口	0	0.0	0	0.0	2	0.9	0	0.0
徳島	0	0.0	0	0.0	1	0.8	2	0.9
香川	1	1.1	0	0.0	0	0.0	2	0.7
愛媛	0	0.0	0	0.0	3	1.4	3	0.7
高知	3	4.2 *	0	0.0	2	1.7	4	1.8
福岡	2	0.4	0	0.0	5	0.7	3	0.2
佐賀	0	0.0	0	0.0	1	0.8	1	0.4
長崎	0	0.0	0	0.0	2	0.9	0	0.0
熊本	0	0.0	0	0.0	2	0.7	0	0.0
大分	0	0.0	0	0.0	1	0.6	1	0.3
宮崎	0	0.0	0	0.0	1	0.6	3	0.9
鹿児島	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
沖縄	0	0.0	1	0.8	3	1.5	3	0.8

期待値は人口あたり報告数が一定という仮定の下で算定。

\* : 報告数が99%信頼上限より大きい



表V-3-4 都道府県別、報告数(4)

都道府県	髄膜炎菌性髄膜炎		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱	
	3年間の報告数	期待値に対する比	3年間の報告数	期待値に対する比	3年間の報告数	期待値に対する比	3年間の報告数	期待値に対する比
北海道	0	0.0	0	0.0	2	0.4	0	0.0
青森	0	0.0	46	2.4 *	0	0.0	0	0.0
岩手	0	0.0	27	1.5	0	0.0	0	0.0
宮城	1	1.7	16	0.5	4	1.8	0	0.0
秋田	0	0.0	95	6.3 *	0	0.0	0	0.0
山形	0	0.0	37	2.3 *	1	0.9	0	0.0
福島	0	0.0	125	4.6 *	1	0.5	0	0.0
茨城	0	0.0	8	0.2	2	0.7	0	0.0
栃木	0	0.0	13	0.5	0	0.0	0	0.0
群馬	0	0.0	47	1.8 *	2	1.0	0	0.0
埼玉	0	0.0	3	0.0	5	0.8	0	0.0
千葉	5	3.4 *	96	1.3	4	0.7	9	1.7
東京	4	1.4	34	0.2	51	4.5 *	0	0.0
神奈川	5	2.4	59	0.5	17	2.1 *	0	0.0
新潟	0	0.0	73	2.3 *	0	0.0	0	0.0
富山	0	0.0	8	0.6	2	1.9	0	0.0
石川	1	3.5	4	0.3	1	0.9	0	0.0
福井	0	0.0	3	0.3	1	1.3	0	0.0
山梨	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
長野	1	1.8	28	1.0	1	0.5	0	0.0
岐阜	0	0.0	49	1.8 *	0	0.0	0	0.0
静岡	3	3.3	46	0.9	2	0.6	1	0.3
愛知	3	1.7	10	0.1	4	0.6	0	0.0
三重	0	0.0	7	0.3	1	0.6	0	0.0
滋賀	0	0.0	1	0.1	1	0.8	0	0.0
京都	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0
大阪	1	0.5	1	0.0	7	0.8	1	0.1
神戸	0	0.0	24	0.3	3	0.6	13	2.6 *
奈良	0	0.0	0	0.0	3	2.2	0	0.0
和歌山	0	0.0	9	0.7	0	0.0	8	8.4 *
鳥取	0	0.0	8	1.0	0	0.0	0	0.0
島根	0	0.0	28	2.9 *	0	0.0	29	42.6 *
岡山	0	0.0	8	0.3	0	0.0	0	0.0
広島	0	0.0	63	1.7 *	0	0.0	0	0.0
山口	0	0.0	4	0.2	0	0.0	0	0.0
徳島	0	0.0	4	0.4	1	1.3	2	2.7
香川	0	0.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0
愛媛	0	0.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0
高知	0	0.0	16	1.5	0	0.0	24	33.0 *
福岡	3	2.4	11	0.2	2	0.4	0	0.0
佐賀	0	0.0	15	1.3	0	0.0	0	0.0
長崎	0	0.0	52	2.7 *	1	0.7	0	0.0
熊本	0	0.0	33	1.4	0	0.0	1	0.6
大分	0	0.0	80	5.1 *	0	0.0	0	0.0
宮崎	1	3.5	154	10.3 *	0	0.0	7	6.7 *
鹿児島	1	2.3	285	12.5 *	0	0.0	19	11.9 *
沖縄	2	6.2 *	1	0.1	0	0.0	0	0.0

期待値は人口あたり報告数が一定という仮定の下で算定。

\* : 報告数が99%信頼上限より大きい

表V-3-5 都道府県別、報告数(5)

都道府県	早期顕症梅毒		晩期顕症梅毒		無症状梅毒		先天性梅毒	
	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比
北海道	13	0.4	8	1.3	24	0.5	0	0.0
青森	0	0.0	1	0.6	5	0.4	0	0.0
岩手	4	0.5	3	1.9	18	1.6	0	0.0
宮城	2	0.1	3	1.2	8	0.4	2	4.7
秋田	5	0.7	1	0.8	22	2.3 *	0	0.0
山形	7	1.0	0	0.0	1	0.1	0	0.0
福島	3	0.2	3	1.3	11	0.6	1	2.6
茨城	7	0.4	4	1.2	14	0.6	3	5.5 *
栃木	2	0.2	1	0.5	6	0.4	1	2.8
群馬	4	0.3	2	0.9	6	0.4	0	0.0
埼玉	9	0.2	5	0.7	21	0.4	2	1.6
千葉	9	0.3	6	0.9	32	0.7	0	0.0
東京	96	1.4 *	17	1.3	165	1.7 *	1	0.5
神奈川	25	0.5	10	1.1	45	0.7	0	0.0
新潟	3	0.2	1	0.4	16	0.8	0	0.0
富山	6	0.9	0	0.0	3	0.3	0	0.0
石川	3	0.4	2	1.5	9	1.0	0	0.0
福井	0	0.0	0	0.0	2	0.3	0	0.0
山梨	2	0.4	1	1.0	1	0.1	0	0.0
長野	7	0.5	2	0.8	13	0.7	0	0.0
岐阜	7	0.6	0	0.0	14	0.8	0	0.0
静岡	4	0.2	0	0.0	27	0.9	0	0.0
愛知	30	0.7	3	0.4	33	0.6	2	1.6
三重	3	0.3	2	1.0	12	0.8	0	0.0
滋賀	3	0.4	2	1.4	15	1.4	1	4.1
京都	34	2.2 *	2	0.7	25	1.2	1	2.1
大阪	174	3.4 *	11	1.1	170	2.4 *	3	1.9
神戸	36	1.1	10	1.6	54	1.2	1	1.0
奈良	10	1.2	3	1.9	7	0.6	0	0.0
和歌山	1	0.2	2	1.7	9	1.1	0	0.0
鳥取	1	0.3	1	1.5	2	0.4	0	0.0
島根	0	0.0	2	2.4	8	1.3	0	0.0
岡山	13	1.1	3	1.4	31	2.0 *	1	2.8
広島	6	0.4	6	1.9	20	0.9	0	0.0
山口	47	5.3 *	1	0.6	20	1.6	1	3.6
徳島	5	1.0	2	2.2	8	1.2	0	0.0
香川	39	6.5 *	1	0.9	12	1.5	0	0.0
愛媛	7	0.8	3	1.8	14	1.2	0	0.0
高知	5	1.1	1	1.1	5	0.8	0	0.0
福岡	52	1.8 *	5	0.9	56	1.4	0	0.0
佐賀	6	1.2	1	1.0	3	0.4	0	0.0
長崎	2	0.2	0	0.0	7	0.6	0	0.0
熊本	26	2.4 *	0	0.0	13	0.9	1	3.0
大分	9	1.3	0	0.0	7	0.7	1	4.5
宮崎	1	0.1	1	0.8	6	0.6	0	0.0
鹿児島	12	1.2	4	2.1	8	0.6	1	3.1
沖縄	2	0.3	3	2.1	8	0.8	0	0.0

期待値は人口あたり報告数が一定という仮定の下で算定。

\* : 報告数が99%信頼上限より大きい

表V-3-6 都道府県別、報告数(6)

都道府県	日本脳炎		破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	
	3年間の報告数	期待値に対する比	3年間の報告数	期待値に対する比	3年間の報告数	期待値に対する比
北海道	0	0.0	10	0.8	3	0.6
青森	0	0.0	6	1.9	1	0.7
岩手	0	0.0	1	0.3	0	0.0
宮城	0	0.0	7	1.4	1	0.4
秋田	0	0.0	2	0.8	8	7.2 *
山形	0	0.0	3	1.1	1	0.9
福島	0	0.0	8	1.7	0	0.0
茨城	0	0.0	6	0.9	3	1.1
栃木	0	0.0	10	2.3 *	1	0.5
群馬	0	0.0	5	1.1	0	0.0
埼玉	0	0.0	7	0.5	4	0.6
千葉	0	0.0	11	0.8	5	0.9
東京	0	0.0	17	0.6	30	2.6 *
神奈川	0	0.0	10	0.5	12	1.5
新潟	0	0.0	4	0.7	0	0.0
富山	0	0.0	2	0.8	1	0.9
石川	1	5.4	6	2.3	0	0.0
福井	0	0.0	1	0.6	0	0.0
山梨	0	0.0	0	0.0	4	4.8 *
長野	0	0.0	7	1.4	0	0.0
岐阜	0	0.0	5	1.1	2	1.0
静岡	0	0.0	8	1.0	2	0.6
愛知	0	0.0	7	0.5	4	0.6
三重	0	0.0	2	0.5	0	0.0
滋賀	0	0.0	0	0.0	0	0.0
京都	0	0.0	6	1.0	1	0.4
大阪	1	0.7	8	0.4	6	0.7
神戸	0	0.0	12	1.0	4	0.8
奈良	0	0.0	0	0.0	1	0.7
和歌山	1	6.0	0	0.0	0	0.0
鳥取	1	10.4 *	2	1.5	0	0.0
島根	1	8.4 *	6	3.6 *	0	0.0
岡山	2	6.5 *	7	1.6	3	1.6
広島	3	6.6 *	10	1.6	2	0.7
山口	2	8.4 *	7	2.1	1	0.7
徳島	0	0.0	4	2.2	1	1.3
香川	0	0.0	3	1.3	0	0.0
愛媛	1	4.3	10	3.1 *	0	0.0
高知	2	15.7 *	6	3.4 *	1	1.3
福岡	1	1.3	8	0.7	13	2.7 *
佐賀	1	7.3	3	1.6	1	1.2
長崎	2	8.4 *	6	1.8	0	0.0
熊本	0	0.0	4	1.0	0	0.0
大分	1	5.2	2	0.8	0	0.0
宮崎	0	0.0	8	3.1 *	1	0.9
鹿児島	0	0.0	16	4.1 *	3	1.8
沖縄	0	0.0	5	1.7	0	0.0

期待値は人口あたり報告数が一定という仮定の下で算定。

\* : 報告数が99%信頼上限より大きい

表V-3-7 都道府県別、報告数(7)

都道府県	マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比	3年間 の報告 数	期待値 に対する 比
北海道	10	0.6	23	12.3 *	3	0.2
青森	1	0.3	1	2.1	0	0.0
岩手	0	0.0	0	0.0	1	0.2
宮城	3	0.5	1	1.3	10	1.3
秋田	0	0.0	0	0.0	3	0.8
山形	2	0.6	0	0.0	17	4.3 *
福島	2	0.3	1	1.4	6	0.9
茨城	5	0.6	0	0.0	38	4.0 *
栃木	9	1.7	0	0.0	7	1.1
群馬	0	0.0	0	0.0	0	0.0
埼玉	9	0.5	0	0.0	17	0.8
千葉	15	0.9	0	0.0	11	0.6
東京都	133	4.0 *	5	1.2	46	1.2
神奈川県	34	1.5	3	1.1	8	0.3
新潟	5	0.7	1	1.2	11	1.4
富山	1	0.3	1	2.7	6	1.7
石川	1	0.3	0	0.0	1	0.3
福井	2	0.9	0	0.0	1	0.4
山梨	0	0.0	0	0.0	0	0.0
長野	1	0.2	1	1.4	6	0.8
岐阜	1	0.2	0	0.0	4	0.6
静岡県	5	0.5	0	0.0	43	3.5 *
愛知県	15	0.8	0	0.0	21	0.9
三重	4	0.8	0	0.0	4	0.7
滋賀	0	0.0	0	0.0	4	0.9
京都	9	1.3	0	0.0	3	0.4
大阪	31	1.3	0	0.0	19	0.7
神戸	9	0.6	1	0.5	10	0.6
奈良	2	0.5	0	0.0	3	0.6
和歌山	2	0.7	0	0.0	0	0.0
鳥取	2	1.2	1	4.9	2	1.0
島根	0	0.0	0	0.0	2	0.8
岡山	2	0.4	0	0.0	7	1.1
広島	5	0.6	1	1.1	7	0.8
山口	2	0.5	1	2.0	1	0.2
徳島	1	0.4	0	0.0	0	0.0
香川	1	0.4	0	0.0	4	1.2
愛媛	3	0.7	0	0.0	1	0.2
高知	0	0.0	0	0.0	3	1.1
福岡	9	0.7	0	0.0	9	0.6
佐賀	0	0.0	0	0.0	0	0.0
長崎	0	0.0	0	0.0	7	1.4
熊本	2	0.4	0	0.0	5	0.8
大分	0	0.0	0	0.0	1	0.3
宮崎	1	0.3	0	0.0	38	10.1 *
鹿児島	3	0.6	1	1.7	13	2.3 *
沖縄	3	0.8	0	0.0	6	1.4

期待値は人口あたり報告数が一定という仮定の下で算定。

\* : 報告数が99%信頼上限より大きい